

研究テーマ:ICTを活用した音楽、図画工作・美術の授業づくり

音楽・図工・美術グループ

高校教育課 道川里奈

義務教育課 伴 貴代

教育相談課 葛西 励

音楽科

ICTを効果的に活用した音楽の授業づくり
(鑑賞)

小学校・第2学年・音楽科・くりかえしを見つけよう

育成を目指す資質・能力

「トルコ行進曲」(ベートーベン作曲)の旋律や反復(くり返し)に興味をもち、曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴き、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

ICT活用のポイント

ICT端末の画面上で音楽の構造を可視化するとともに、音楽を個々の学習に合わせたタイミングで聴いて確かめたり、グループや全体での交流の場で共有したりできるようにする。

事例の概要

旋律やリズムの反復を
聴き取る

・「はじめの旋律」を聴いて口ずさんだり、旋律が変わったと感じたところ(「もう1つの旋律」が出てきたところ)で手を挙げるなどの活動を通して、旋律や反復を聴き取る。(CDプレイヤー)

曲想と音楽の構造との
関わりに気付く

・ICT端末を活用して曲想と2つの旋律の特徴や反復との関わりに気付く。(ICT端末とイヤホン)

①2つの旋律の図形楽譜を見ながら、旋律の特徴や反復など、個々のタイミングで聴いて確かめる。

②気付いたことや考えたことを、挿絵を見ながら、グループで説明し合ったり、クラス全体で伝え合う。適宜、音楽を聴いて確かめる場面を設ける。

互いの気付きなどを
伝え合う

曲全体を味わって聴く

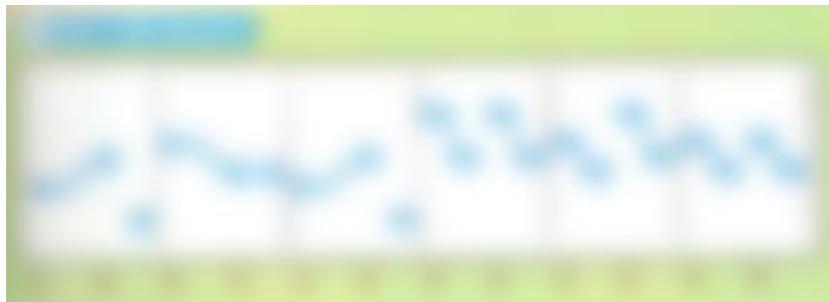
旋律や反復に気を付けて、曲全体を味わって聴く。(CDプレイヤー)



はじめのせんりつ



もう1つのせんりつ



ぜんぶ



中学校・第1学年・音楽科・曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう

育成を目指す資質・能力

「魔王」(シューベルト作曲)の旋律や音色に関心を持ち、曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴き、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

ICT活用のポイント

ICT端末の画面上で音楽の構造を可視化するとともに、音楽を個々の学習に合わせたタイミングで聴いて確かめたり、グループや全体での交流の場で共有したりできるようにする。

事例の概要

旋律や音色の変化を聴き取る

・歌い方が変わったと感じたところで手を挙げるなどの活動を通して、旋律や音色(歌い分け)の変化を聴き取る。(CDプレーヤー)

曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考える

・ICT端末を活用して曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考える。(ICT端末とイヤホン)

①「いくつか(何人)を歌い分けているのか?」(~1:18)を考えながら聴く。

☆3人の登場人物(語り手・父・子)を歌い分けていることを、楽譜を見ながら、個々のタイミングで聴いて確かめる。

☆☆自分なりに考えた根拠をグループで説明し合ったり、クラス全体で伝え合う。適宜、音楽を聴いて確かめる場面を設ける。

→ ~1:52まで聴き進み、魔王の音色(歌い分け)に注意して聴く。

曲想と音楽の構造との関わりに気付く

②「3つの「子」の音源は、どの部分にはまりそうか?」を考えながら聴く。

☆旋律の変化や音色(歌い方)の変化に着目しながら、楽譜を見ながら、個々のタイミングで聴いて確かめる。

☆☆と同じ

互いの気付きなどを伝え合う

味わって聴く

旋律や音色(歌い分け)などに気を付けて、味わって聴く。(CDプレーヤー)



Q①

(0:20～)1:18まで聴いてみよう。

いくつ(何人)を歌い分けていると思いますか？

A:2つ(2人)→なぜそう思いましたか？

B:3つ(3人)→なぜそう思いましたか？



Q②

下の1・2・3の3つの音源は、
「子」C・D・Eのどこかを切り取った音源です。
どこの音源だと思いますか？聴いてみよう。

1



2



3



D

C

E

高等学校・第1学年・音楽科・音楽の要素とイメージをつなげよう

育成を目指す資質・能力

速度や旋律、音色に関心を持ち、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

ICT活用のポイント

ICT端末の画面上で音楽の構造を可視化するとともに、音楽を個々の学習に合わせたタイミングで聴いて確かめたり、グループや全体での交流の場で共有したりできるようにする。

事例の概要

旋律や速度を
聴き取る

・オッフェンバックのオペラ「天国と地獄」より「地獄のギャロップ」の旋律(教材～0:45)とサン・サーンスの組曲《動物の謝肉祭》より「亀」(教材Aを元とした教材B0:10～0:40)を聴き比べて、旋律や速度の変化を聴き取る。**CDプレーヤー**

曲や演奏に対する評価
とその根拠を自分なりに
考える

・ICT端末を活用して曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考える。**ICT端末とイヤホン**

◇3曲の曲想から《動物の謝肉祭》の 11(～0:20)・12(～0:31)・13(～0:45)曲目のタイトルを予想する。

① 音色・速度・旋律などに着目しながら聴き、3曲それぞれの特徴をふせんに書く。

☆着目したい特徴を、個々のタイミングで何度でも聴いて確かめる。

② ①で書いた曲の特徴とタイトルを照らし合わせ、それぞれの曲か予想する。

☆☆自分なりに考えた根拠をグループで説明し合ったり、クラス全体で伝え合う。適宜、音楽を聴いて確かめる場面を設ける。

互いの気付きなどを
伝え合う

・音色、速度、旋律などに気を付けて、味わって聴く。**CDプレーヤー**

味わって聴く

組曲《動物の謝肉祭》の作曲者 サン＝サーンス



1835-1921 フランスの作曲家

3歳でピアノ曲を作り、10歳でピアノの演奏家としてステージに立つなど、早くから音楽の才能を現した。

組曲《動物の謝肉祭》は友人が主催する音楽会で私的に楽しむために作られた。さまざまな動物が描かれたこの作品では、既存の曲のフレーズをパロディーとして用いるなど、ユニークな表現がみられる。

86年という一生の間に、多くの弟子を育てながら、作品を多く残した。

1:序奏と堂々たるライオンの行進

2:雌鳥と雄鳥ら

3:らば

4:亀

A

B

5:象

6:カンガルー

7:水族館

8:耳の長い紳士

9:森の奥のかっこう

10:大きな鳥籠

11:



12:



13:



14:終曲

ピアニスト

化石

白鳥

◇3曲の曲想から《動物の謝肉祭》の11・12・13曲目のタイトルを予想してみよう

Q① 音色・速度・旋律などに着目して聴き、3曲それぞれの特徴をふせんに書いてみよう

Q② ①で書いた曲の特徴とタイトルを照らし合わせ、それぞれどの曲か予想してみよう

(例 生徒の付箋への記入例)

氏名：道川里奈

Q① 音色・速度・旋律などに着目して聴き、3曲それぞれの特徴をふせんに書いてみよう

11曲目 ピアノ
だけで一定の速
さ、練習曲？み
たい

12曲目 木琴？
と弦楽器で演奏
速め 途中き
らきら星のメロ
ディがきこえた

13曲目 チェロ
かバイオリンの
弦楽器とピアノ
の2人で演奏
ゆったり流れる
よう

Q② ①で書いた曲の特徴とタイトルを照らし合わせ、それぞれどの曲か予想してみよう

11曲目はピアニ
スト まじめに
一生懸命練習し
ている感じがす
るから

12曲目はピアニストと
迷ったけど化石 まじ
めなピアニストとい
う感じもするけど、木
琴の音が骨をならし
ているようにも感じ
たから

13曲目は白鳥
これは小学校で
も聴いた 弦楽
器が白鳥の優美
な感じ ピアノ
は波かな

音源の挿入について(Google スライド)

※事前にドライブに音源をアップロードした後

1「挿入」をクリック



2「音声」をクリック



3 曲を選び「選択」をクリック



4 スピーカーマークが出てくる

